

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	利用者が地域とつながりながら暮らしつづけられるよう事業所自体が地域の一員として日常的に交流をしている。	日々の暮らしの中で毎日全員が近所へ出かけるよう支援する。	散歩チェック表を作成し一日のうち一度は近所を散歩できるように配慮する。当日の勤務者全員が一人3名を特定の時間を決めず散歩の誘導が出来るようにする。(ただし、極寒、酷暑、雨天の日は避ける。)又、事業所の行事に地域の人を招待し交流を図る。	3ヶ月
2	37	日常生活の中で本人が思いや希望を表したり自己決定ができるよう働きかけている。	利用者の思いや希望が自由に表せるようにする。	一言一言をゆっくり話しかけ相手が理解できたかどうかを確かめながら次の話しかけをする。利用者の望みをひきだしたり自分で決められるよう場面をつくる。(例えば、自分で洋服や飲み物を選ぶ。)	3ヶ月
3	15	本人が困っていること、不安なこと要望等に耳を傾けながら関係づくりに努めている。	利用者が不安や困っていることを知り、信頼関係を深める。	担当制をとっているので各担当者がよりその人を知り交流する。信頼関係を深めなんでも相談できる相手になることで安心できる人間関係づくりをする。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。